

明石工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	保健体育Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実技			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	新版保健体育概論(近畿地区高専体育研究会編:晃洋書房)						
担当教員	石田 まさみ,前田 忠紀,小林 優希						
到達目標							
・ 授業に参加して自身の健康増進、体力向上に努める。また、ある程度の自己管理能力がある。 ・ それぞれの種目のルールやゲームの進め方を理解し、参加することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
出席・授業態度	主体的に授業に参加して自身の健康増進、体力向上に努める。自己管理能力が高い。		授業に参加して自身の健康増進、体力向上に努める。ある程度自己管理能力がある。		授業への参加や自身の健康増進、体力向上に消極的。自己管理能力が高くない。		授業に参加しない。自身の健康増進、体力向上に努めない。自己管理能力が低い。
実技	各種目の練習、ゲームに積極的に参加し、競技力が非常に高い。また、ゲーム等に大きな影響力を持つ。		各種目の練習、ゲームに積極的に参加することができる。また、その技術を身に付けている。		各種目の練習、ゲームに参加することができる。		各種目の練習、ゲームに参加しない。
リーダーシップ	リーダーの役割をよく理解し、チームワーク力を高めることができる。		リーダーの役割を理解して担う、もしくは引き受けることができる。		リーダーの役割を理解しているが、その役割を担うことはない。		リーダーの役割を理解していない。またその役割を担うこともない。
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (A) 学習・教育目標 (B)							
教育方法等							
概要	基礎体力の向上を図りつつ、様々なスポーツに適応できる能力を高める。また、身体活動を通して豊かな社会性を養い、ルールやマナー、安全に対する態度や知識も身につける。						
授業の進め方・方法	ゲームや練習に積極的に参加し、その種目の楽しさを各々に発見してもらいたい。まずはルールやゲームの進め方などを覚え、基本技術の習得に努める。さらにゲームやゲーム形式練習を通して、より高度な技術を身に付け、チームワーク力も高めてほしい。受講学生と担当教員が協力して安全で雰囲気の良い授業作りをしたいと考えている。						
注意点	・ 学校指定のトレーニングウェア、運動靴を着用すること。 ・ アクセサリー類、時計、その他不必要な物の着用や持ち込みを禁止する。 ・ 遅刻は開始20分までとする。20分以後の参加は認めるが欠席扱いとする。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、男子:バレーボール(1) / 女子:バレーボール(1)			この授業の目的、目標を理解する。ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。	
		2週	男子:バレーボール(2) / 女子:バレーボール(2)			ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。	
		3週	男子:バレーボール(3) / 女子:バレーボール(3)			ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。	
		4週	男子:バレーボール(4) / 女子:バレーボール(4)			ゲームに参加することができる。	
		5週	男子:バレーボール(5) / 女子:バレーボール(5)			ゲームに参加することができる。	
		6週	男子:バレーボール(6) / 女子:バレーボール(6)			ゲームに参加することができる。	
		7週	男子:バレーボール(7) / 女子:バレーボール(7)			ゲームに参加することができる。	
		8週	中間試験実施せず				
	2ndQ	9週	男子:卓球(1) / 女子:卓球(1)			基本技術の習得に努める。	
		10週	男子:卓球(2) / 女子:卓球(2)			基本技術の習得に努める。	
		11週	男子:卓球(3) / 女子:卓球(3)			基本技術の習得に努める。	
		12週	男子:卓球(4) / 女子:卓球(4)			ゲームに参加することができる。	
		13週	男子:卓球(5) / 女子:卓球(5)			ゲームに参加することができる。	
		14週	男子:卓球(6) / 女子:卓球(6)			ゲームに参加することができる。	
		15週	男子:卓球(7) / 女子:卓球(7)			ゲームに参加することができる。	
		16週	期末試験実施せず				
後期	3rdQ	1週	男子:テニス (1) / 女子:バドミントン (1)			ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。	
		2週	男子:テニス (2) / 女子:バドミントン (2)			ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。	
		3週	男子:テニス (3) / 女子:バドミントン (3)			ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。	
		4週	男子:テニス (4) / 女子:バドミントン (4)			ゲームに参加することができる。	
		5週	男子:テニス (5) / 女子:バドミントン (5)			ゲームに参加することができる。	
		6週	男子:テニス (6) / 女子:バドミントン (6)			ゲームに参加することができる。	
		7週	男子:テニス (7) / 女子:バドミントン (7)			ゲームに参加することができる。	
		8週	中間試験実施せず				
	4thQ	9週	男子:バスケットボール (1) / 女子:バスケットボール (1)			ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。	

	10週	男子:バスケットボール (2) / 女子:バスケットボール (2)	ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。
	11週	男子:バスケットボール (3) / 女子:バスケットボール (3)	ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。
	12週	男子:バスケットボール (4) / 女子:バスケットボール (4)	ゲームに参加することができる。
	13週	男子:バスケットボール (5) / 女子:バスケットボール (5)	ゲームに参加することができる。
	14週	男子:バスケットボール (6) / 女子:バスケットボール (6)	ゲームに参加することができる。
	15週	男子:バスケットボール (7) / 女子:バスケットボール (7)	ゲームに参加することができる。
	16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	出席・授業態度	実技	リーダーシップ	合計	
総合評価割合	75	15	10	100	
基礎的能力	75	0	0	75	
専門的能力	0	15	0	15	
分野横断的能力	0	0	10	10	